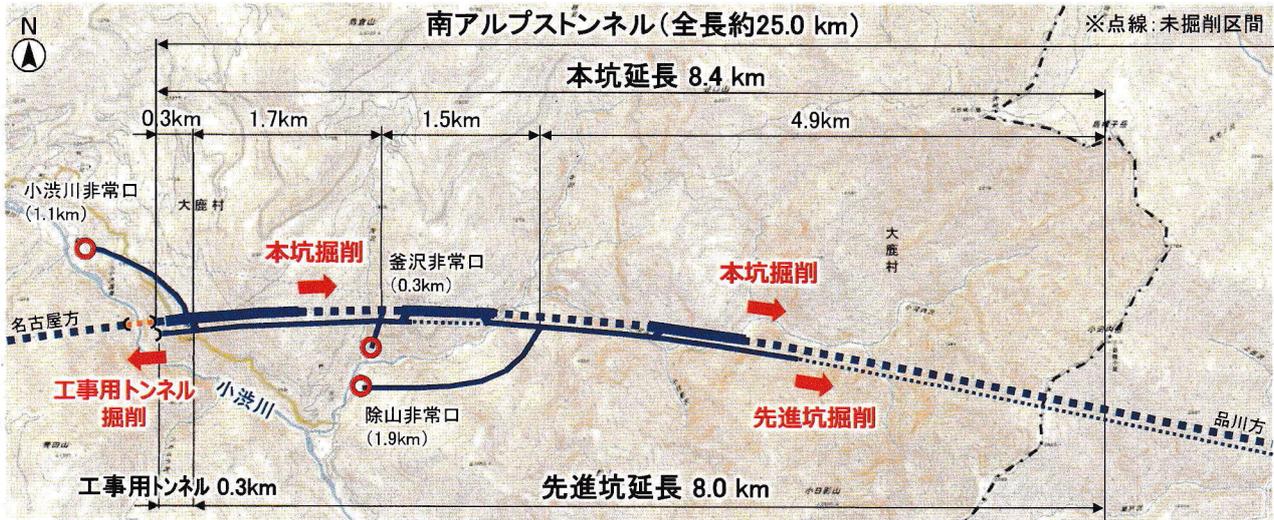


南アルプストンネル長野工区の工事状況

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

- 除山非常口から先進坑及び本坑を掘削しています。
- 小渋川非常口から本坑を掘削しています。また、工所用トンネルは近々の貫通に向けて掘削しています。



【凡例】

- 計画路線(トンネル区間)
- 計画路線(地上区間)
- 非常口トンネル・先進坑・工所用トンネル
- 非常口

工事進捗(掘削済延長)

非常口 : 約3.3km 完了
 先進坑等 : 約4.7km / 8.3km
 本坑 : 約2.7km / 8.4km

3

伊那山地トンネル青木川工区の工事状況

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

- 青木川非常口から本坑を掘削しています。
- 11月中旬頃に国道152号下青木薬師堂～青木川非常口ヤード入口の間において舗装修繕工事を予定しています。



【凡例】

- 計画路線(トンネル区間)
- 計画路線(地上区間)
- 非常口トンネル・先進坑・工所用トンネル
- 非常口

工事進捗(掘削済延長)

非常口 : 約0.6km 完了
 本坑 : 約1.5km / 3.6km

4

トンネル工事進捗状況

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料



先進坑掘削状況(除山)



本坑掘削状況(除山)



本坑掘削状況(小渋川)

画像がズレた



本坑掘削状況(青木川)

5

発生土仮置き場の状況

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

- ▶ 発生土仮置き場B(三正坊)は、土砂の搬出を適宜行っています。
- ▶ 発生土仮置き場E(小渋川変電所予定地)は、土砂の搬入・搬出を行っています。
- ▶ 7/7に飯田市内(土曾川橋りょう)への要対策土運搬(1回目)が完了しました。

2回目は来年度ごろの予定



発生土仮置き場B(三正坊)

小河内沢川↓

←小渋川



発生土仮置き場E(変電所)

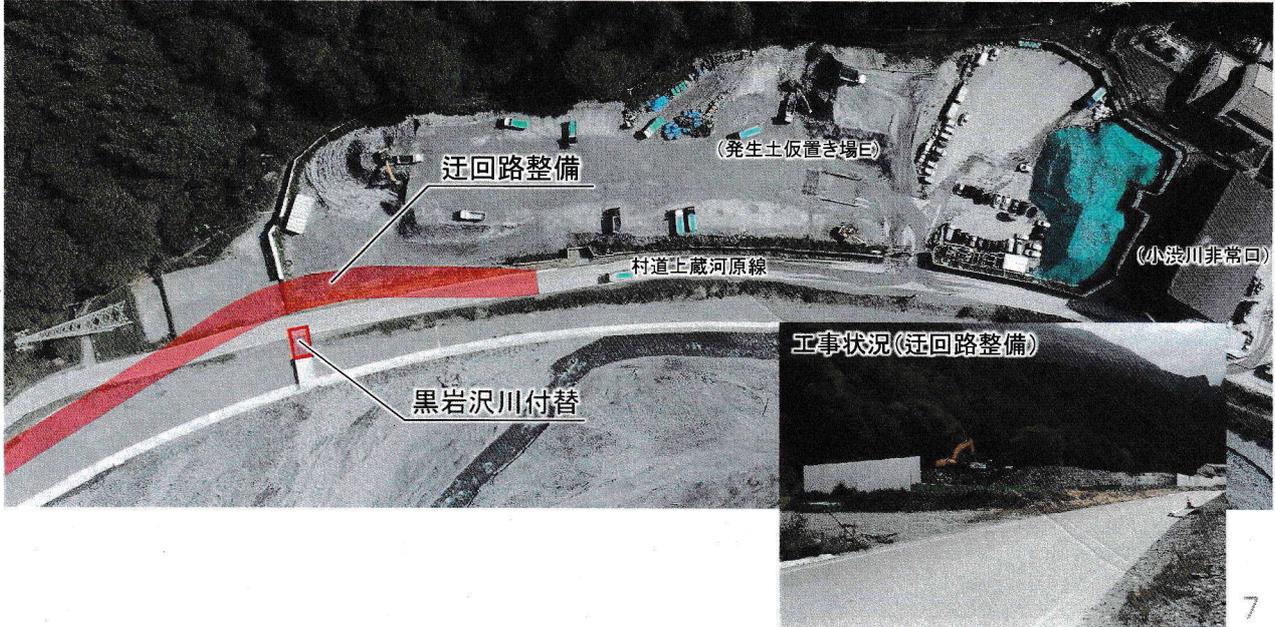
←小渋川

6

小渋川変電所及び関連工事等の状況

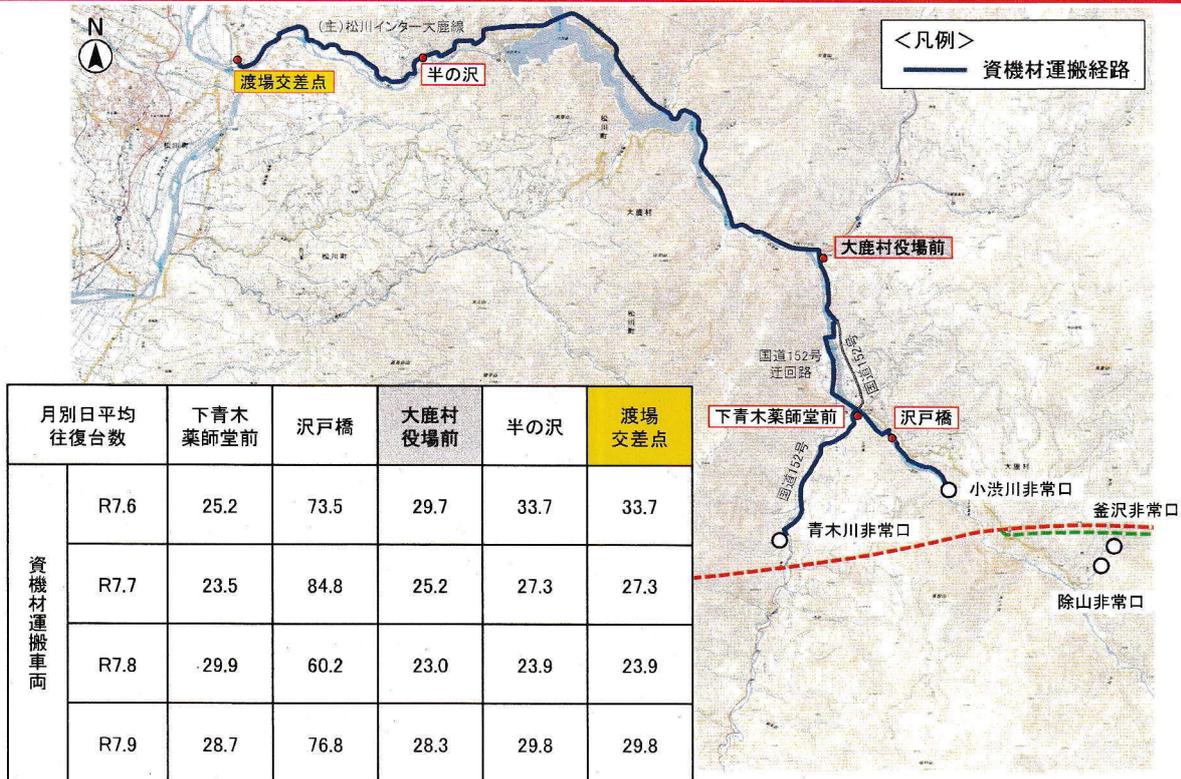
20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

- ▶ 村道上蔵河原線の嵩上げ工事(迂回路整備、造成工事)及び黒岩沢川付替(村道交差点)を行っています。
- ▶ 迂回路は、工事の進捗状況に合わせて順次振替を行います。



通行台数実績(資機材運搬車両)

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料



※「月別日平均」とは、月延総台数を1月当りの工事稼働日で割り戻した数値です。

※ R7.9の台数は、9/15までの実績台数です。

- ・ 工事に伴う事後調査・モニタリングの結果や環境保全措置の実施状況等について、当社の取組みとして、毎年公表しています。
- ・ 本年6月26日に公表した「2024年度における環境調査の結果等について」(以下「年次報告」)のうち、村内工事に関する内容の一部を説明いたします。

【参考】年次報告の記載内容(村内工事に関する内容)

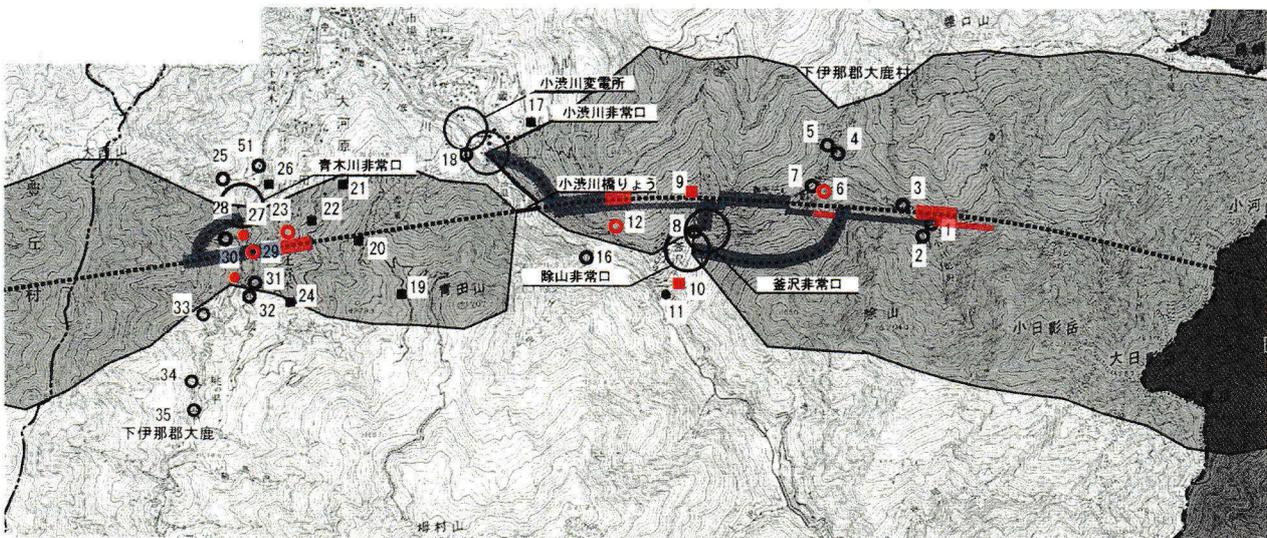
項目	内容
事後調査	水資源、動物、植物等
モニタリング	水質、水資源、土壌汚染、動物等
その他	事業の実施状況、環境保全措置の実施状況

【JR東海 HP】
環境調査結果について



【水資源】事後調査の調査地点

(年次報告 2-1-6～7ページ)



凡例

- 計画路線(トンネル区間)
- 計画路線(地上区間)
- 非常口トンネル(斜坑)
- 市町村境
- 井戸の水位(縦井戸)
- 湧水の水量(湧水等)
- 地表水の流量
- 予測検討範囲
- (トンネル区間) 2023年度までの掘削範囲
- (トンネル区間) 2024年度の掘削範囲

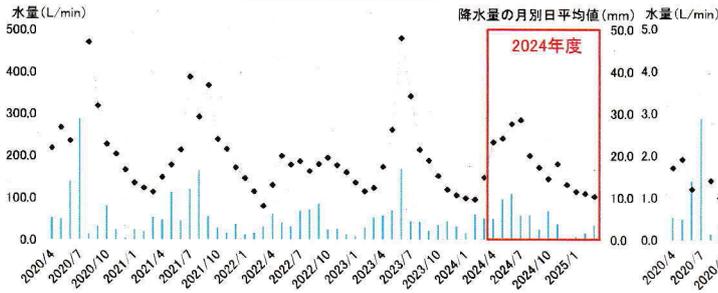
【水資源】事後調査結果 (南アルプストンネル長野工区)

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

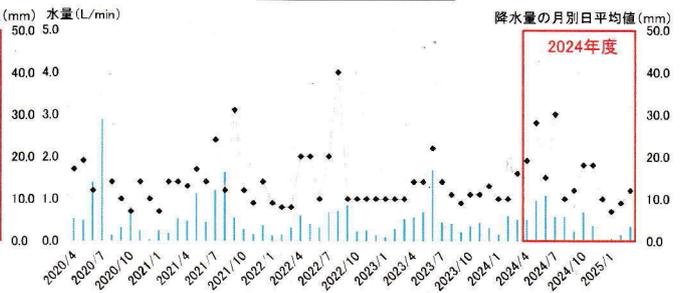
(年次報告 2-1-28, 59, 61ページ)

— : 降水量
◆ : 流量・水量

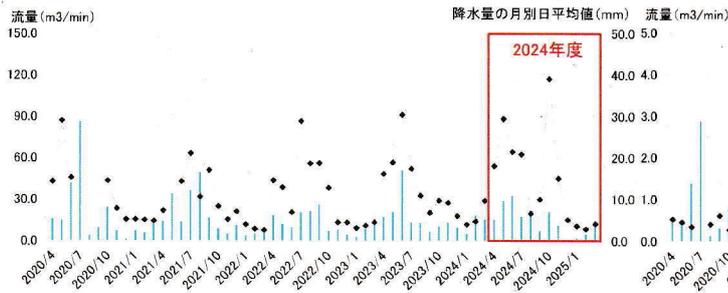
9 釜沢水源(湧水)



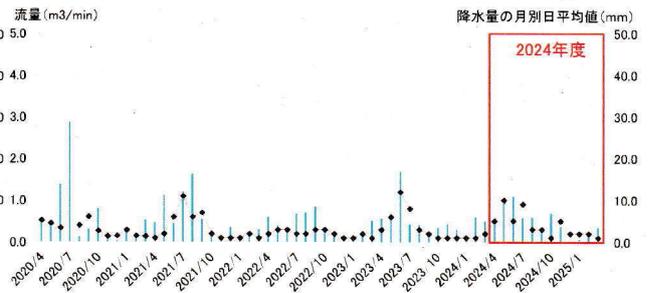
10 荒川温泉



6 小河内沢川(下流部)



12 小渋川支流(相沢)



※ 降水量は月別日平均値

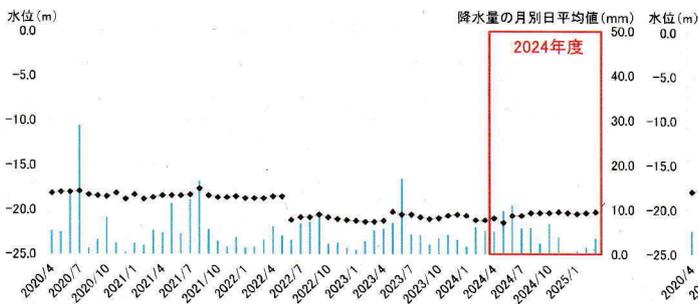
【水資源】事後調査結果 (伊那山地トンネル青木川工区)

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

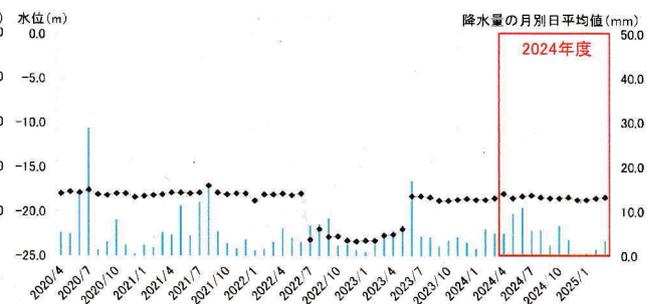
(年次報告 2-1-33, 64, 65ページ)

— : 降水量
◆ : 流量・水位

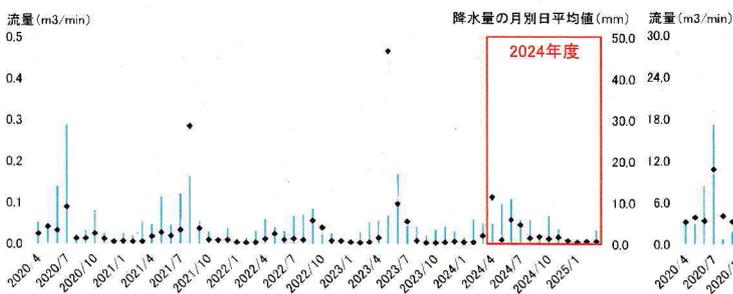
27 個人水源(井戸)



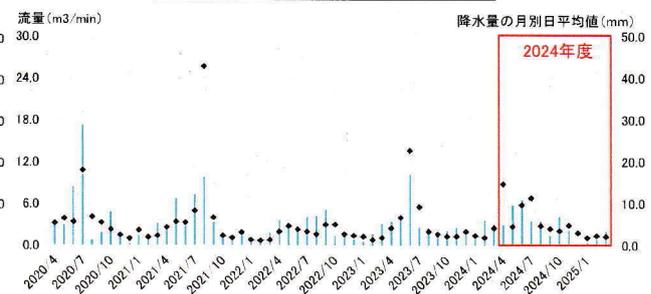
30 個人水源(井戸)



23 青木川支流



29 青木川支流(木間沢)

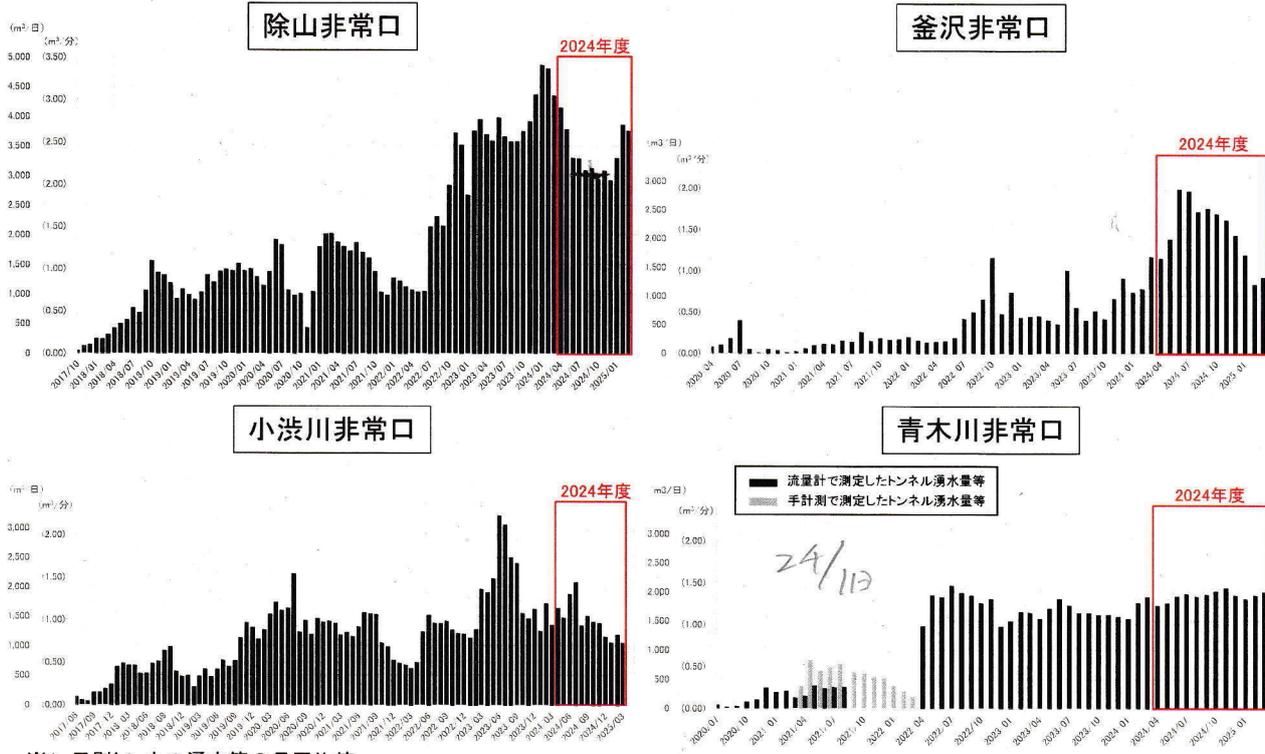


※ 降水量は月別日平均値

【参考】トンネル湧水量の状況

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

(年次報告 参1-2~4ページ)



※1 日別トンネル湧水等の月平均値

※2 トンネル湧水等には、トンネル湧水のほか、工事排水、雨水を含む

21

【鳥類(希少猛禽類)】事後調査結果

20250930 大鹿村
第37回連絡協議会資料

(年次報告 2-2-1ページ及び5-1-1ページ)

【対象種】

ノスリ(Aペア、Bペア)、クマタカ(Aペア、Bペア、Cペア)

※ノスリ(Bペア)とクマタカ(Aペア)は、工事箇所から営巣地が近く、生息環境の一部が保全されない可能性があるため「代替巣の設置」を実施しています

※クマタカ(Aペア)は、工事着手までの間の生息状況を把握するため、継続調査を実施しています

【調査項目・調査方法】

- ・定点観察法による飛翔行動等の確認
- ・営巣地調査による営巣木の位置、巣の状況等の確認
- ・繁殖確認調査による抱卵・育雛行動、雛の成長、巣立ちの時期等の確認

【調査結果】

- ・ノスリ(Bペア)は、代替巣にて営巣、繁殖を確認した
- ・クマタカ(Aペア)は、営巣、抱卵行動及び雛を確認したが、以降の調査では雛を確認できず、巣立った幼鳥も確認できなかったため、繁殖は失敗したものと考えられる

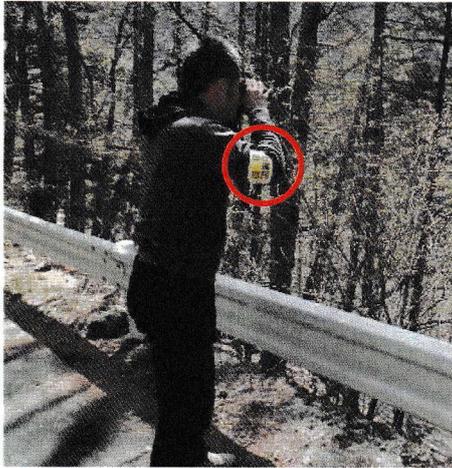
※工事箇所から営巣地が近いペアの調査結果をお示ししています。その他ペアの調査結果は、年次報告をご参照ください

※希少種保護の観点から、位置等の情報については非公開にしています

22

猛禽類調査(今後の調査予定)について

- 今年度は春から夏の調査が完了し、今後は12～3月にかけて調査を行います。
- 調査は、月に6～9日程度、6時～17時に行います。
- 調査範囲は、釜沢、上蔵、沢戸、下青木、上青木、北の原地区で行います。
- 道路上から双眼鏡等を用いて猛禽類の行動等を調査しますが、調査対象のペアの行動等に合わせた調査を行う必要があるため、調査員は位置を変えながら調査を行います。
- 次年度の調査予定は、次回以降の協議会で別途お知らせいたします。



調査員は、上記の腕章を着用しています

鳶ヶ巣沢環境対策事業の状況

- 現在、左岸道路の整備を行っています。
- 本体工事については、出水期のため工事を中断していましたが、11月から工事を再開します。工事内容は、護岸工、土留擁壁、根固工の構築を予定しています。

